



仙台市科学館 蒲生調査レポート 速報版

No.252

〒981-0903 仙台市青葉区台原森林公園4番1号
 仙台市科学館 事業係
 TEL:022-276-2201 FAX:022-276-2204
<http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/>

2021.3.7

水門は機能している

■ 潟湖内に入り込んだ稚魚

今回の調査ではイシガレイ稚魚を潟湖内でも採集した。採集場所は七北田川河口（レポートNo.249参照）、導流堤水門付近（Fig.1）、潟湖内（Fig.2 黄色部分）である。採集稚魚の数と大きさはTable.1のとおりである。河口で採集した稚魚が小さい傾向が見られるが、「外海→河口→導流堤水門→潟湖内」と成長しながら移動してくると考えると、大きさの差を説明することができる。

潟湖内でもある程度の数の稚魚を採集できており、導流堤に設置された水門はしっかり機能していると考えて良いであろう。ただし、Fig.2の黄色部分は泥底であった。これまでの調査ではイシガレイ稚魚は底が砂の部分好むように思われる。今後潟湖内に入り込んだ稚魚が順調に成長するのか、目を向けていきたい。

	1.5cm	2.0cm	2.5cm	平均
河口	11	5	0	1.7cm
水門	3	5	3	2.0cm
潟湖内	0	7	2	2.1cm

(Table.1 イシガレイの全長と採集個体数)



(Fig.1 イシガレイ稚魚採集場所 水門付近)



(Fig.2 イシガレイ稚魚採集場所 潟湖内 黄色部分)



(Fig.3 河口で採集した稚魚)



(Fig.4 水門付近で採集した稚魚)



(Fig.5 潟湖内で採集した稚魚)

(佐藤 賢治)